

水防ため池点検調査

梅雨期を前に、大阪府と市町村と一緒に防災上重要なため池の点検調査を実施しています。ため池からの漏水の有無や草刈りがされているかなどを点検し、災害の未然防止に役立っています。

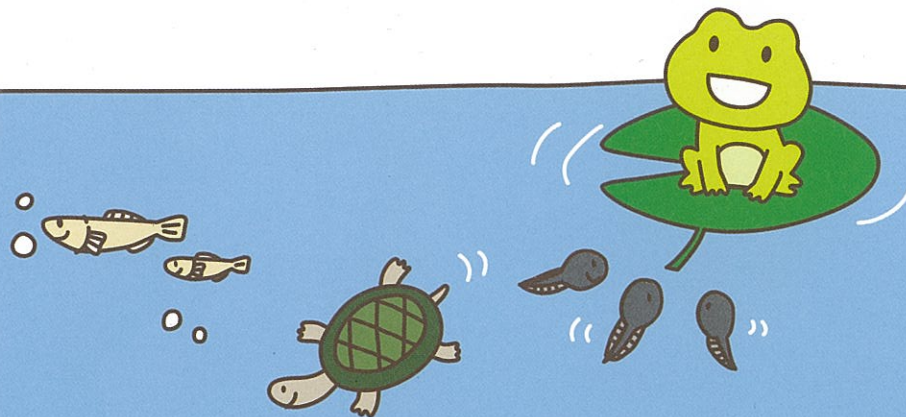
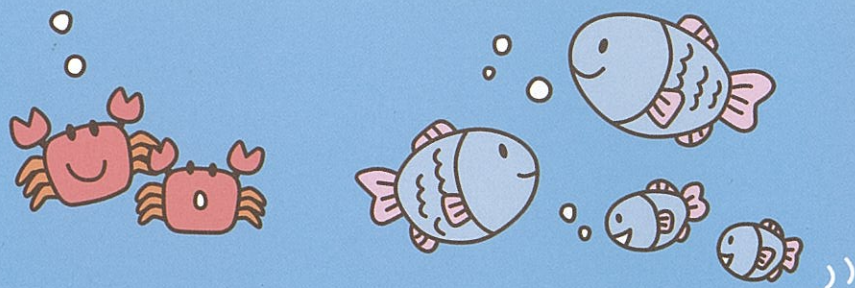


5月は『ため池愛護月間』です。

みんなのため池を
かわいがってネ!!



都市と自然と農業の調和をはかる、水と緑のオアシス『ため池』。



「ため池」は、昔から農業用水を確保するために造られたもので、現在大阪府には、僧の行基がつくったといわれ、45ヘクタールもの水面積を有する久米田池や、370万トンの貯水量を誇る光明池をはじめ10,000箇所をこえる「ため池」があり、全国でも「ため池」の多い府県の一つです。

農業を営む人々は、重要な水源である「ため池」の日常的な維持管理や補修、改修を行ったり、また、台風などによる大雨や梅雨時には夜間も見回りを行うなど、地域の財産として大切に守り、育んできました。

一方、高度成長期以降の都市化の波は、ため池周辺の環境にも大きな変化をもたらし、「ため池」は今日では単なる農業用水としてだけではなく、地域住民の「水と人とのふれあいの場」として、また都市に残された貴重な「水と緑の空間」として活用されています。

こうした府民共有の貴重な自然環境の財産である「ため池」を皆さんの理解と協力で大切に保全されるよう、大阪府と大阪府土地改良事業団体連合会では毎年5月を「ため池愛護月間」と定め、広報活動を行っています。

ため池が大切に保全されるよう、常に管理・観測を行っています。

ため池を管理する人たちの活動は？



大阪府ため池防災テレメータシステムってなんだろう？

府内のため池50箇所に雨量計と水位計を設置し、市町村やため池を管理している人たちにリアルタイムに情報提供することで、災害発生の防止に役立っています。



(大阪府ため池防災テレメータシステム)

テレメーター画面



(大阪府ため池防災テレメータシステム)

観測状況

ため池を大切に守るためのお願いと注意事項について。

地域のため池を大切に守るために

- ゴミを捨てないようにしましょう。
- 地域ぐるみでため池の草刈りや水路の清掃に参加しましょう。
- ため池や水路の水を汚す家庭からの排水にちょっとした心づかいをもちましょう。
- ため池からの漏水などを発見したときには市町村へ連絡しましょう。

子どもを水難事故から守るために

管理している皆さまへ

- 危険標識は子どもにもわかりやすいものにしましょう。
- 安全施設の破損に注意しましょう。

地域の皆さまへ

- 子どもだけでため池や水路で遊んでいるのを見かけたら注意の一声をかけましょう。
- 自治会などを通じて子どもの水難事故防止について保護者に啓発しましょう。

